

## 第2次かわぐちグリーン・エネルギー戦略

平成30年4月

## 第2次かわぐちグリーン・エネルギー戦略

### 1 第2次かわぐちグリーン・エネルギー戦略の趣旨

かわぐちグリーン・エネルギー戦略（平成25年度から平成29年度）は、電力不足や電力コストの上昇などのエネルギーリスクに強く、持続可能で低炭素な市民生活・事業活動の実現を目指して、様々な施策に取り組むアクションプランです。

第2次かわぐちグリーン・エネルギー戦略は、再生可能エネルギー利用の推進、省エネルギーの推進、次世代自動車の普及促進などに、今後もさらに取り組んで、温室効果ガス排出量及びエネルギー消費量の削減を推進するため、かわぐちグリーン・エネルギー戦略を踏襲しつつ、新たな施策を加えて策定するものです。

### 2 戦略の柱

- 再生可能エネルギー利用の推進
- 省エネルギーの推進
- 次世代自動車の普及促進
- エコ建設の普及促進

#### ◇戦略展開の視点

- 再生可能エネルギー利用設備及び省エネルギー型設備の導入を推進します。
- イニシャルコスト削減のため、補助制度や民間資金の活用を促進します。  
また、ランニングコスト削減と合わせたトータルコスト削減に努めます。
- 避難所における再生可能エネルギー利用設備の導入を検討します。
- エネルギーリスクに対応するための独立電源の確保に努めます。
- 市民、特に子ども世代への地球温暖化に関する学習効果、啓発効果を考慮します。
- 省エネルギー型設備の施工等にあたっては、市内業者の活用を推進します。

### 3 戦略期間

平成30年度から平成32年度（3カ年）

## 4 戦略目標と主要な施策

### (1) 再生可能エネルギー利用の推進

○目標：年間発電量635万kwhを増量します。

#### ○目標の説明

かわぐちグリーン・エナジー戦略（以下「第1次戦略」といいます。）では、5カ年で年間発電量を1,500万kwh増量する目標であり、1,500万kwhから第1次戦略期間で事業が完了した分など4,425,800kWhを除き、第2次戦略期間である3カ年分を算出したものです。

$$(1,500,000\text{kwh} - 4,425,800\text{kwh}) \div 5\text{カ年} \times 3\text{カ年分} \\ \doteq 6,350,000\text{kWh}$$

- ① 家庭向けに再生可能エネルギー利用設備の導入を促進します。
- ② 事業所向けに再生可能エネルギー利用設備の導入を促進します。
- ③ 公共施設に太陽光発電施設を設置します。
- ④ 木質バイオマスの活用を促進します。

### (2) 省エネルギーの推進

○目標：公共施設の照明LED化により、年間電力使用量486,000kwhを削減します。

#### ○目標の説明

第1次戦略の平成25年度から平成28年度までで、照明のLED化により、電力使用量を1,624,023.2kWh削減しており、ここから第1次戦略期間で事業が完了した分など976,299.5kWhを除き、第2次戦略期間である3カ年分を算出したものです。

$$(1,624,023.2\text{kWh} - 976,299.5\text{kWh}) \div 4\text{カ年} \times 3\text{カ年分} \\ \doteq 486,000\text{kWh}$$

- ① 商店街の街路灯や道路照明灯をLEDに改修します。
- ② 事業所向けに省エネルギー型設備の導入を促進します。
- ③ 継続して節電に取り組む「エコライフの実践」を進めます。
- ④ 公共施設の水銀ランプをLEDに改修します。
- ⑤ エコチューニング※1を導入します。
- ⑥ コージェネレーション設備の導入を促進します。

#### ※1 エコチューニング

「エコチューニング」とは、業務用等の建築物から排出される温室効果ガスを削減するため、建築物の快適性や生産性を確保しつつ、大規模な設備更新を行わずに、設備機器・システムの適切な運用改善等を行うことをいいます。平成26年度環境省委託事業「エコチューニングビジネスモデル確立事業」では、CO2排出量7.5%削減の効果が得られました。

### (3) 次世代自動車の普及促進

○目標：公用車への次世代自動車導入台数10台以上増加します。

#### ○対象とする次世代自動車

燃料電池自動車（FCV）      電気自動車（EV）  
ハイブリッド自動車（HV）   プラグインハイブリッド自動車（PHV）  
天然ガス自動車（CNG）

- ① 公用車の次世代自動車利用を拡大します。
- ② 公用車に燃料電池自動車を導入します。
- ③ 商用水素ステーションを設置します。

### (4) エコ建設の普及促進

- ① 「新庁舎」「川口市立高等学校」「赤山歴史自然公園」の建設にあたり、再生可能エネルギー利用設備の導入、省エネルギー型設備の活用を基本として、環境負荷の少ないエコ施設とします。